

令和4年度

高知県文化賞受賞者

事績概要

高 知 県

いな がき のり とし 稲 垣 典 年 氏

82歳

現住所 岡山県岡山市中区浜



1 経歴の概要

昭和34年 3月 高知県立室戸高等学校卒業
昭和39年 4月～ 京都大学古曾部園芸場練習生（～昭和39年6月）
昭和39年 7月～ 東京大学理学部附属植物園（～昭和45年3月）
昭和45年 4月～ 高知県職員（高知県立牧野植物園）
（～平成13年3月）
平成13年 4月～ 公益財団法人高知県牧野記念財団非常勤職員
（～令和4年3月）
令和 4年 4月～ 公益財団法人高知県牧野記念財団アドバイザー
（現在に至る）

2 受賞歴

平成28年 園芸文化賞（公益社団法人園芸文化協会）
令和 4年 木村賞（公益財団法人日本植物園協会）

3 事績の概要

氏は、高知県立牧野植物園に52年間勤務し、園地での植栽について高知県内の野生植物を主とするなど、牧野植物園の在り方の基本を確立した。

また、園の多くの教室や講座、講演等の講師を務め、書籍や記事の執筆、投稿を行うなど、植物に興味を持つ人々の裾野を広げる活動や人材育成にも寄与している。県内大学に参画したプロジェクトでは、ガイドブックの執筆に携わり、高知県内の有用植物の普及啓発にも貢献した。

さらに、高知県内各地において、植物や湿地の復元、土佐市のタチバナ保全活動の指導等を行うなど、地方創生の一端を担う活動にも尽力している。

以上のように、植物を通じた多年にわたる氏の活動が本県の文化振興に寄与している功績は大きい。

しこく かんげんがくだん 四国フィルハーモニー管弦楽団

創立年月日 昭和62年7月19日（35年）

事務所住所 高岡郡日高村本郷253番地2

1 経歴の概要

昭和62年 7月 営利を目的とせず、自らの自己実現を音楽を通して達成すること、自らの音楽レベルの向上と、より高い音楽空間の創造を目的に、高知県、愛媛県を中心とする各地の若い奏者たちが結成し、四国フィルハーモニー管弦楽団を設立

2 主な活動内容

昭和63年 3月 第1回高知定期公演を開催（現在に至る）

昭和64年 1月 南国土佐音楽フェスティバル「ニューイヤーコンサート」共催（高知市）

平成3年 10月 文化庁主催日本オペラ協会公演オペラ「よさこい節」（高知市）出演（平成29年3月に再演）

平成3年 12月 県民「第九」演奏会（高知市）、以後須崎市、北条市、伊予三島市、西条市における「第九」演奏会に出演

平成4年 8月 四国二期会オペラ「那須与一」（高松市）、以後オペラ「コシファントッテ」に出演

平成11年 7月 合唱組曲「四万十川」初演（高知市）

平成15年 9月 日本ホルン協会「'03JHSホルンフェスティバルin高知」（高知市）出演

平成31年 3月 バレエと音楽との出会い（高知市）



3 事績の概要

当楽団は、高知県、愛媛県を中心に各地から集まった奏者で結成され、本拠地高知での定期公演を中心に、多年にわたり活動している。

また、「難病と闘う子どもたちを支援するコンサート」を開催し、寄せられた浄財を活用して様々な支援を行うなど、音楽を通じた社会的活動に尽力している。

世界的なアーティストとの協演も多く、県内において質の高い演奏会を実施することで、音楽に関係する人材の育成に寄与しており、高知県の音楽文化向上に貢献している。

以上のことから、音楽を通して本県の文化振興に寄与しており、多年にわたる活動の功績は大きい。

